

Umbrella Roamingコンピュータホスト名同期機能について

内容

[はじめに](#)

[概要](#)

[移動するコンピュータの識別](#)

[2020年2月1日以降に行われた新しいローミングクライアントのインストール:](#)

[2020年2月1日より前の既存のローミングクライアントのインストール:](#)

はじめに

このドキュメントでは、Umbrellaのローミングコンピュータホスト名の同期機能について説明します。

概要

この記事では、ダッシュボードでローミングクライアントのホスト名を確認する際に想定される内容について説明します。すべての新規導入では、名前は現在のホスト名です。2020より前の導入の場合は、クライアントの名前について、こちらを参照してください。2020より前のすべてのクライアントのデフォルトは、インストール時のホスト名でした。

移動するコンピュータの識別

以前は、マシン自体のホスト名が変更されると、Umbrellaダッシュボードのローミングクライアントのラベルが更新されませんでした。これは長期的な管理にとって大きな問題であったため、同期を実行するためにいくつかの手順を実行しました。この記事の残りの部分では、プロセスがどのように機能するかを説明します。

この機能は、スタンドアロンローミングクライアントのインストールとAnyConnect用の統合モジュールの両方に対して機能し、すべてのオペレーティングシステムに対して機能します。

2020年2月1日以降に行われた新しいローミングクライアントのインストール:

すべての新しいローミングクライアントのインストールには3つのプロパティがあり、RCが最初にインストールされたときはすべて同じです。

- Identity Name: UmbrellaダッシュボードでのIDの名前。これは管理者が変更できます。
- Hostname: エンドポイントコンピュータの現在のホスト名。エンドポイントにインストールされているローミングクライアントから提供され、定期的に更新されます。
- Original Hostname: ローミングクライアントが最初にインストールされたときのホスト名。

ローミング中のクライアントのHostnameプロパティは、エンドポイントで変更された場合、Identity NameがHostnameと同じになるように同期されます。唯一の例外は、管理者がID名を手動で変更した場合です。ホスト名を変更しても、カスタムID名は変更されません。

2020年2月1日より前の既存のローミングクライアントのインストール：

既存のローミングクライアントのインストールでは、次の3つのシナリオがあります。

1. ホスト名とID名は同じです。ここではアクションは行われません。
2. ホスト名は、最初のインストール以降に変更されています。ID名が自動的に更新され、Hostnameプロパティが同じになります。
3. ID名は、最初のインストール以降に手動で変更（名前の変更）されています。このRCのHostnameプロパティは更新されますが、ID名は変更されません。

ID名を変更してホスト名と再同期する必要がある場合は、名前を自分で変更することができますが、簡単に行うためのボタンが追加されています。名前の変更アイコン（ペンアイコン）をクリックすると、「ホスト名と一致」オプションが青色で表示されます。

Roaming Computer Information

Identity Name 

OUT-OF-SYNC-WORKSTATION

OUT-OF-SYNC-WORKSTATION

MATCH HOSTNAME

When matched to Hostname, Identity Name will reflect any changes made to Hostname.

CANCEL

SAVE

Hostname

ACALAOAG-M-M2MK

,Original Hostname

ACALAOAG-M-X2UH

スクリーンショット_2020-01-28_at_11.20.17_AM.png

注：ホスト名の変更は、すぐには行われません。コンピュータの実際のホスト名が変更されると、数時間から最大24時間の範囲でダッシュボードが更新されます。これは、同期アップデートはインストールベースを介して実行されるバックグラウンドプロセスであり、整合性を確保するために実行が遅いためです。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。